

平成 29 年度鈴鹿工業高等専門学校入学式（専攻科） 校長式辞

本日、春の香りが満ち溢れ、桜花美しき、この良き日、平成 29 年度鈴鹿工業高等専門学校専攻科入学式を挙げていただけますことを、大変嬉しく思います。学科での優秀な成績に基づいた推薦や、厳正な選抜試験を乗り越えて入学された 30 名の専攻科入学生の皆さん、誠におめでとうございます。教職員一同を代表して心からお祝い申し上げますとともに歓迎いたします。

高専の専攻科は、本科の教育の基礎の上に立って、専門領域における高度の知識・技能を使いこなすとともに、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけ、高度の課題設定・問題解決能力を備えた創造性豊かな実践的技術者の育成を目指すものです。

総合イノベーション工学専攻からなる本校の専攻科は、1993 年に設置された電子機械工学専攻、応用物質工学専攻の 2 専攻を改組し、本年度より新たに発足したものです。環境・資源、エネルギー・機能創成、ロボットテクノロジーの 3 コースとグローバルエンジニアプログラムを有する新専攻は、産業の融合・複合化が益々進む社会において、各専門分野で培った高度な技術を発展させるとともに、次世代の新技术を創成できる広い視野と幅広い知識を有した、国際的にも通用する創造的実践的技術者を養成することを目指しています。

皆さんはその専攻の一期生となります。そして、専攻修了時には、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与されますので、誇りと向上心、そして気概を持ってこれからの学校生活を営んでいただきたいと思います。ただ、ともすれば同じキャンパスで学業を営むこととなりますので甘えが生じるかもしれません。積極的に外の世界に接する努力をしてほしいと思います。

さて、これからの時代、皆さんが社会の中核として活躍する 2050 年を見据えた時代、この時代は今までのトレンドを超えた想像もつかない時代になるかもしれません。急速に進化する AI やロボット関連技術、また 3D プリンターに代表される製造方法の革新、これらをインターネットのもとに取り込んで、ものづくりの社会を大幅に変える IoT 技術にみられるように、新たな産業革命の時代に入っています。

最近、脚光を浴びているジェレミー・リフキンは、著書「限界費用ゼロ社会 <モノのインターネット> と共有型経済の台頭」において、現代は第三次産業革命の時代に突入していると言っています。彼は、社会の変革は、通信、エネルギー、そして交通の三要素によって特徴づけられるといい、第一次産業革命は、通信では電信、エネルギーでは石炭、そしてそのエネルギーを活用した蒸気機関、交通では蒸気機関を活用した汽車や船です。第二次産業革命では、これらが電話、石油および内燃機関、自動車になります。では、第三次産業革命ではどうなるでしょう。これらはインターネット、再生可能エネルギーに代表される自立分散型エネルギー、そしてこれらの新たな通信手段やエネルギーを活用した交通・流通形態になります。インフォメーションを活用したモノづ

くりという意味で、マニファクチュアリングからインフォマクチュアリングへ移行とすると言っています。

21世紀は、すでに第三次産業革命に突入していると言えますが、リフキンがいう「限界費用ゼロ社会」とは、モノを生産するのに必要な費用がほぼゼロになる社会をいいます。最初に投資する固定資本に対する費用は必要ですが、あとは製品が一単位当たり、たとえば一個当たりでもいいですが、それが生産されるコストはほぼゼロになるということです。そして、この動きはすでに3Dプリンターの世界では起こっています。プリンターがあれば、ソフトはインターネットからほぼ無料で手に入れることができ、材料費だけで非常に安くすみ、安価な製品が作られます。既に3Dプリンターを使った家づくりも試みられています。もしこのような時代が来ると、技術者の価値はどこにあるのでしょうか。何を求めればいいのでしょうか。

皆さんには、社会や技術の動向を見据えて、自分のあり方、活かし方を考えていただきたいと思います。これからの社会は、より人間が人間らしく生きることができる時代になると信じています。今までの知識は基礎としては重要ですが、いつまで通用するかはわかりません。皆さんが新たな知識をつくっていく必要があるでしょう。

さて、専攻科修了後は社会人として働きたいと就職する人もいるでしょう。研究心旺盛な人は大学院へ進学もするでしょう。そのような将来に備えて専攻科2年間の中で自分らしさを見出し、自分にあった道を選んでください。未来の社会は皆さんが創ることができます。この新しい社会の担い手になるべく、専攻科2年間の生活を有意義に過ごしてください。皆さんの更なる成長・発達を願って、お祝いのあいさつとします。

平成29年4月5日

鈴鹿工業高等専門学校長
新田 保次